

コミュニケーション指導実践シート

対象	中学部	教科・領域等	日常生活の指導（朝の会）
場所	教室	学習形態	集団学習

1 生徒の実態

コミュニケーション面については、簡単な日常会話や指示を理解し、仲間や教員と言語を用いた関わりをする生徒や、主に視線の動きや発声、身体の動きで表現をする生徒等、個々に障害の状況は様々である。

2 生徒の目標

- ・ 1日の始まりや終わりを意識し、見通しをもって活動できるようにするとともに、自分から挨拶をする。
- ・ 一緒に活動する楽しさを共有し、仲間を意識しながら生活する気持ちをはぐくむ。

3 実践

<指導の手立て>

- ・ 仲間や教員に意識を向けられるよう、椅子の角度や位置に配慮する。
- ・ 自分の気持ちを個々の得意な方法で表現できるようにスーパートーカーやスイッチ等を用いる。
- ・ 繰り返しの学習を通して、朝の会での役割や行動に見通しをもち意欲的に取り組めるようにする。

○朝の会の内容

【始めの挨拶、日付天気の確認、呼名、今日の予定、
今日の献立、今月の歌、終わりの挨拶】

○新しいスイッチ教材を使用したコミュニケーションの実践

日直の生徒は、それぞれの実態に応じた表現方法（発声、身体の動き、スイッチ等）で朝の会を進行した。今年度、手で握ることでスーパートーカーを操作できるスイッチ（印鑑ケーススイッチ）を作成し、活用した。

生徒によっては、ボタン型のスイッチを使用する場合に比べ、自らの身体の動きでスイッチを操作できることが多かった。今後も継続してスイッチを活用し、自ら発信する力を高めることが望ましい。



4 生徒の変容（成果：○、課題：△）

○本人の自発的な動きで朝の会を進行することができた。
△表現方法がスイッチ操作に偏らないよう留意し、発声や表情等のコミュニケーションも学習できるようにする必要がある。